

平成 2 3 年度事務事業評価調書

平成 2 3 年度作成

平成 2 2 年度 実 施 事 業	事務事業名 アイヌ文化講座経費
----------------------	------------------------

区分	番号	名 称
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち
節	3	市民の個性ある文化活動と文化を育む
施策	2	文化の保存・継承
小分類	2	アイヌ文化の振興
主要な施策	2	伝統芸能、工芸に触れる機会の充実
事務事業番号	001	事務事業コード 53222001 事業開始年度 平成 9 年度 事業終了年度 平成 - 年度

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	アイヌ文化講座経費
------	------	------------	-----------

部 名	保健福祉部	グループ名	社会福祉 G
-----	-------	-------	--------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

目的	(事務事業の実施目的を具体的に記載してください) アイヌ協会が行う文化講座の支援。アイヌ民族文化の市民への周知。
手段 (事業の内容・活動)	(目的を達成するためにどのような手法で行うのか、事業の概要を具体的に記載してください) 参加者を募集し、アイヌ刺しゅう・トマ織物等を使用した作品の作成講座を開催する。 その講座経費を補助する。
成果	(事務事業の実施成果を具体的に記載してください) アイヌ住民の生活の社会的、経済的向上を図るとともに、市民にアイヌ文化伝承への理解を深めてもらいアイヌ民族の福祉の充実や市民への周知を図る。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載してください)

指標の推移

区 分		単位	区分	22年度 実 績	23年度 目 標	24年度 目 標	25年度 目 標	26年度 目 標
成果 指標	講習会の延参加者数(10回)	人	目標値	160	160	160	160	160
			実績値	152	/	/	/	/
			目標値		/	/	/	/
			実績値		/	/	/	/

事業費の推移

区 分		単位	22年度 決算	23年度 当初予算	24年度 見込	25年度 見込	26年度 見込	24～26 年度
事業の 財源内訳	国庫支出金 名称	千円						0
	道支出金 名称	千円						0
	地方債 名称	千円						0
	その他 名称	千円						0
	一般財源 名称	千円	296	296	280	280	280	840
合 計			296	296	280	280	280	840
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費		職 員	千円	133	136			
		嘱 託 員	千円	0	0			
		臨時職員	千円	0	0			
		合 計		133	136			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後も市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ アイヌ住民の生活の社会的、経済的向上とアイヌ文化保存伝承のための支援が必要である。
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ アイヌ文化を伝承する人材育成も目的とし参加市民が講座に対し関心を持っており成果は上がっている。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのようにして向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？ 講習会の開催日数や参加者数に大きな変動はないが、参加者の増加を図る工夫が必要である。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？ 講習会の実施に必要な最小限の経費であり削減は難しい。

担当グループによる評価

維持	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	アイヌ住民の生活の社会的、経済的向上と保存文化伝承」のため必要である。
-----------	----------------------	-------------------------------------

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

維持	備考
-----------	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）